

# Mizuho Daily Market Report

2023/6/21

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	141.75	141.47	▲0.51	+1.25
EUR	1.0944	1.0918	▲0.0003	+0.0125
AUD	0.6807	0.6785	▲0.0066	+0.0018
SGD	1.3409	1.3433	+0.0023	+0.0010
CNY	7.1732	7.1809	+0.0175	+0.0147
MYR	4.6371	4.6405	+0.0098	+0.0255
THB	34.70	34.74	▲0.05	+0.20
IDR	15021	15000	+5	+140
PHP	55.56	55.56	▲0.19	▲0.39
INR	82.10	82.12	+0.18	▲0.26

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.721%	▲4.1 bp	▲9.3 bp
日本(10年)	0.393%	▲0.7 bp	▲3.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.405%	▲11.2 bp	▲1.8 bp
オーストラリア(5年)	3.916%	▲0.3 bp	+12.2 bp
シンガポール(5年)	3.091%	+0.1 bp	+8.7 bp
中国(5年)	2.469%	▲2.3 bp	+5.7 bp
マレーシア(5年)	3.553%	+1.3 bp	+2.9 bp
タイ(5年)	2.330%	+0.9 bp	+7.0 bp
インドネシア(5年)	5.940%	+2.7 bp	+3.1 bp
フィリピン(5年)	5.772%	▲1.0 bp	+10.4 bp
インド(5年)	6.989%	▲0.5 bp	+5.4 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,053.87	▲0.7%	▲0.5%
N225(日本)	33,388.91	+0.1%	+1.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,343.14	▲0.4%	▲0.1%
ASX(オーストラリア)	4,125.41	▲0.3%	▲0.6%
FTSTI(シンガポール)	3,220.23	▲0.6%	+1.0%
SSEC(中国)	3,240.37	▲0.5%	+0.2%
KLSE(マレーシア)	1,388.33	+0.1%	+0.6%
SETI(タイ)	1,537.59	▲1.2%	▲1.6%
JKSE(インドネシア)	6,660.455	▲0.4%	▲0.9%
PSE(フィリピン)	6,448.90	▲0.0%	▲0.9%
SENSEX(インド)	63,327.70	+0.3%	+0.3%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	267.41	▲1.3%	+2.5%
金	1,936.42	▲0.7%	▲0.4%
原油(WTI)	70.50	▲1.8%	+1.6%
銅	8,552.25	+0.1%	+1.2%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	140.50	—	143.00
EUR/USD	1.0880	—	1.1000
AUD/USD	0.6770	—	0.6930
USD/SGD	1.3330	—	1.3450
USD/CNY	7.1160	—	7.1880
USD/MYR	4.5980	—	4.6780
USD/THB	34.48	—	34.90
USD/IDR	14900	—	15030
USD/PHP	55.50	—	56.15
USD/INR	81.80	—	82.30

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア市場は141円後半でオープン。東京公示仲値にかけて実需のドル買いにより堅調推移。昨年11月22日の高値をわずかに更新し、142.26を示現。ただ、豪中銀の会合議事録を受けて豪ドル/円が下落したことや、本邦閣僚から円安けん制発言が聞かれるとドル/円も下落。141円半ばまで下押す。その後は大口のドル買いが断続的に入る展開で、相場は反転し142円台を回復。142円台前半で海外市場へ渡った。アジア通貨は、インドネシアルピアとマレーシアリングが全体の下落を主導している。中国人民銀行(中央銀行)はこの日、銀行貸出金利の指標となる最優遇貸出金利(ローンプライムレート、LPR)の1年物と5年物を10カ月ぶりに引き下げたが、より強力な刺激を望んでいた投資家の間では失望感が広がった。

海外市場のドル円は欧州時間から円高が進行し、141円台半ばでNYオープン。米国朝方に発表された米5月住宅着工件数と米5月建設許可件数が予想を上回った事が買い材料となり、141円台後半まで上昇。しかし、その後は米金利が低下する展開が重しとなり、141円台前半まで下落する。午後は午前中の流れは継続。売り一巡後は小幅反発し、141円台半ばまで値を戻し、そのままクロス。

## 【金利】

本日の金利市場は、小幅低下。長期で特に下げ幅が大きく、イールドカーブはフラット化した。未明から債券買い優勢となっていた相場は、強めの住宅指標を眺めニューヨーク明けに一時売り優勢へ戻したが、その後はまた買い優勢へと反転し、屋過ぎまでそのトレンドが持続。前週終値比では金利低下となった。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。昨年の本日はパウエル議長証言があり、一段の利上げ織り込みを高める内容となるかには注目が集まる。市場は依然として年内1回の織り込みにとどまっておろ、タカ派なコメントが出てくるかには注目が集まりそうだ。

## 【本日の予定】

(日本) 4月 日銀 議事要旨  
(日本) 安達日銀審議委員講演  
(アジア) 5月 豪 ウェストハック 景気先行指数  
(アジア) 5月 韓国 PPI  
(アジア) 6月 韓国 輸入 20日間 / 輸出 20日間  
(欧州) 4月 英 住宅価格指数  
(欧州) 5月 ユーロ圏 EU27か国新車登録台数  
(欧州) 5月 英 CPI / PPI / 小売物価指数  
(欧州) 5月 英 公共部門純借入所要額 / 中央政府純借入所要額  
(欧州) 5月 英 公共部門純借入額 / 公的部門純借入額  
(欧州) 6月 英 英国産業連盟  
(欧州) 独 国債入札 (30Y)  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) ゲールズビー・シカゴ連銀総裁講演  
(米国) 国債入札 (20Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。